

# オプトアウト文書

西暦 2026 年 5 月 20 日

「抗菌薬適正使用を目的とした ICT 研修の理解度評価と抗菌薬処方に及ぼす影響の解明」の対象になられる方および保護者の方へ（臨床研究に関する情報）

三重中央医療センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究の実施にあたっては、当院倫理審査委員会の承認ならびに、病院長より許可を受け、倫理指針および法令を遵守して実施します。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の相談窓口へお願いします。

[研究課題名] 抗菌薬適正使用を目的とした ICT 研修の理解度評価と抗菌薬処方に及ぼす影響の解明

[研究機関名・長の氏名] 三重中央医療センター院長 下村 誠

[研究責任者所属・氏名] 三重中央医療センター 薬剤部 築川樹

[分担者・氏名] 三重中央医療センター 呼吸器内科 内藤雅大

## [研究の目的]

院内感染対策の研修（以下、ICT 研修）受講者の研修内容に対する理解度を評価し、ICT 研修が抗菌薬処方に及ぼす影響を解明する。

## [研究の方法]

### 1. 対象

ICT 研修の評価は、2025 年 12 月 25 日～2026 年 1 月 31 日までに ICT 研修を受講し、アンケートに回答した当院職員とする。

抗菌薬処方量の調査は 2025 年 10 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに当院において第 1 世代経口セファロスポリン系薬、第 3 世代経口セファロスポリン系薬の投薬を受けた患者を対象とする。

### 2. 利用、又は提供する試料・情報の項目

電子カルテ、J-SIPHE（感染対策共通プラットフォーム）

以下は ICT 研修の受講者を対象に調査した結果を収集する

- ・受講者の職種（医師、助産師・看護師、薬剤師、検査技師、事務職員、その他）
- ・職種経験年数
- ・研修内容に関する理解度アンケートの結果

以下は抗菌薬の処方量推移を調査する

- ・第 1 世代経口セファロスポリン系薬の AUD (antimicrobial use density)、DOT (days of therapy)、使用患者数、使用量
- ・第 3 世代経口セファロスポリン系薬の AUD、DOT、使用患者数、使用量
- ・内服抗菌薬全体の使用患者数、使用量
- ・第 1 世代経口セファロスポリン系薬、第 3 世代経口セファロスポリン系薬を処方した診療科

### 3. 実施時期

2026年6月

### 4. 研究期間

研究を行う期間は、許可日より2026年12月31日まで

### 5. 共同研究機関の名称および研究責任者の氏名

該当なし

### 6. 個人情報の管理について

研究対象者の方に情報を公開し、研究参加の拒否、撤回ができるようにしています。

また、個人情報漏洩を防ぐため、本研究では個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化管理などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。さらに、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

### 7. 医学・看護学上の貢献

本研究に参加することによる研究対象者個人への直接的な利益は生じませんが、本研究を行うことで、抗菌薬使用量の評価、適正使用につながると考えます。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の研究対象者となった方の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する個人情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者となった方を特定できる個人情報は利用しません。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。  
(研究に協力されない場合も不利益等の影響はありません。)

#### [連絡先・相談窓口]

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5

三重中央医療センター 薬剤部 薬剤師 築川 樹

TEL: 059-259-1211 (代表)